

京都市民総合体育大会中・高生女子採点規則及び総体規則について

学年別大会(表彰も学年別 個人総合1位～3位メダル・賞状 1位～6位賞状・種目別1位～6位賞状) 府民大会のみ

全体について Eスコア及びその他については2017年度版(変更Ⅱ)に準ずる
 変更Ⅱで認められている要素(平均台・床)は、構成要求として認められる
 5要素以下の場合、Eスコアの最高点は以下の通り(跳馬以外)

5要素	6.00	4要素	5.00		
3要素	4.00	2要素	3.00	1要素	2.00

跳馬

新型跳馬 125cm 3助走2跳躍

- 採点の観点
- 各跳躍に対して突き手・高さ・回転が正確に実施されているものを評価し失敗に対しては、はっきりし減点する。
 - 美しい体線での実施

Dスコア 難度表にないものはA難度とし次の通りとする

台上前転	1.00
------	------

※ 実施減点(Eスコア)は、5.00から減点

段違い平行棒

高さ 高棒250cm 低棒170cm

- 採点の観点
- 難度に対しては技術の正確な実施を要求する。
 - 肘の曲がり膝、つま先のゆるみが無い、演技の中断については厳しくチェックする。
 - 美しく伸びた体線での実施

Dスコア 6要素以上最大8要素で構成。

CR 各0.5

- 低棒と高棒で少なくとも1つ以上の技を実施
- 棒間移動(技でなくてもよい)
- 棒に近い回転系の技(空中局面を伴わない)
- 倒立に到達する技

※ 終末技を含む最大8つの高い順からの難度点を数える。

※ 同一技は2回まで要素として数える。

※ 逆上がりはA難度として認める。(CR不可。1回のみ数える。)

平均台

高さ125cm

- 採点の観点
- 美しい姿勢、芸術性のある演技。
 - リズムとテンポの変化、めりはりと流れるような演技。
 - 技は正確な姿勢でおこなう。
 - 技の前の精神集中のための停止は、厳しく減点していく。

Dスコア

CR 各0.5

- 180度開脚(前後/左右)または開脚屈伸姿勢のリープ・ジャンプ・ポップを1つは含む少なくとも2つの異なる技からなるダンス系の組み合わせ
- ターン(グループ3)
- 後方のアクロバット系要素(後転可)
- 前方または側方のアクロバット系要素(前転可)

※ 終末技を含む最大8つの高い順からの難度点を数える。

3つのダンス系の技、3つのアクロバット系の技、残り2つの技は任意

床

- 採点の観点
- 技は正確な姿勢でおこなう。
 - 躍動感ある演技。
 - 美しい姿勢、芸術性のある演技。
 - リズムとテンポの変化、めりはりと流れるような演技。

Dスコア

CR 各0.5

- 180度の前後/左右開脚または開脚屈伸姿勢の跳躍技を1つは含む少なくとも2つの異なるダンス系での移動
- 片足上のターン(360度以上)
- 前方の宙返りを含むアクロバット系要素
- 1つの後方の空中局面を伴う少なくとも2つの技からなるアクロライン(ロングダート～バク転可)

※ 終末技を含む最大8つの高い順からの難度点を数える。

3つのダンス系の技、3つのアクロバット系の技、残り2つの技は任意